2019.7.26

## 来月の消費予報

# 消費意欲指数は前年並みも、 夏らしい消費に関する意欲は減少傾向

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

8月の消費意欲指数は49.7点。前月比+1.1ポイント、前年比-0.4ポイントと、ほぼ前年並みとなりました。



「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月 (8月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

### カテゴリー別 消費意向 【前月比】 【前年比】 亩・バイク 日用品 L = 2 +2 -亩・パイク PCタブレット インテリア 00 00 書籍・エンタメ 書籍・エンタメ 家電・AV スマホ・携帯

🌞 UP:前月比/前年比で20人以上増加 🌎 DOWN:前月比/前年比で20人以上減少

「来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

## 8月のポイント

## Point 1:指数は前年並み。一方で、夏の買い物や行楽への意欲は前年から減少

夏休みや帰省のシーズンである8月は、毎年50点前後の高い消費意欲指数を示す月です。今年は50点には届かなかったものの、前月からは1.1ポイント上昇。特に買いたいモノ・利用したいサービスでも、「旅行」「外食」「レジャー」などの夏の行楽への意欲が前月より20件以上増加しています。

一方で、前年との比較では「ファッション」が前年より20件以上減少しており、「旅行」「外食」「レジャー」も前年比では減少。 消費意欲指数の理由(OA)をみても、夏休みの買い物や夏物衣料の購入などの季節消費への意欲をあげる声(2018年8月171件→2019年8月158件)や「セールがあるので買いたい」という声(2018年8月51件→2019年8月26件)が前年より減少しています。梅雨が長く、なかなか夏らしい天気にならないことが、夏の消費への意欲に影響しているのかもしれません。なお、「今月までに多く使ったのでセーブしたい」(2018年8月42件→2019年8月62件)、「金銭的な余裕がない」(2018年8月97件→2019年8月131件)といった経済的な余裕のなさに関する声も大きく増加しています。指数は前年並みながら、実際の消費にどれだけ結びつくかは不透明といえそうです。

## Point 2: 増税を理由に「控えたい」の声と「買いたい」の声が共にあがっている

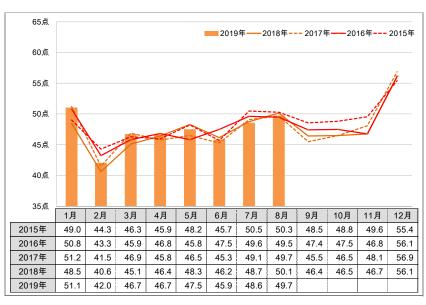
「消費税増税を理由に消費を控えたい」という声は、今月も21件あがっています(2019年6月13件→2019年7月19件→2019年8月21件)。一方で、先月に増加した「増税前に買いたい」との声も引き続き増加しています(2019年6月3件→2019年7月19件→2019年8月27件)。増税に関する声がどう推移していくかは、今後の動向を見守りたいところです。

## 消費意欲指数

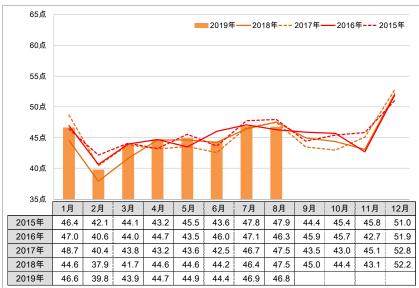
#### ■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、 あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

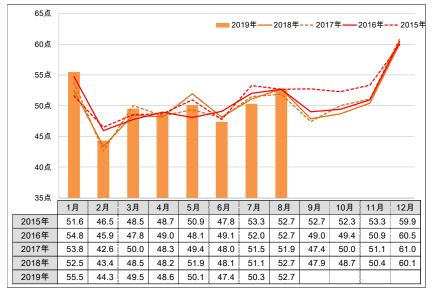
#### 【全体】



### 【男性】



### 【女性】



#### ■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### <生活者の声 ~消費意欲指数の理由~【金銭的な余裕がない】>

- ・会社が不景気で給料が少ないから(15点・男性25歳・愛知県)
- ・ボーナスが減ったから(30点・男性34歳・神奈川県)
- ·経済的余裕がないから(10点·男性44歳·兵庫県)
- ・実質的な景気の悪さと夏期一時金もあまり期待できない状況下、購買意欲は湧かない(40点・男性58歳・埼玉県)
- ・収入が極端に減ったため(30点・男性62歳・愛知県)
- ・消費税増税がささやかれている今、反対はしているが最悪の事態を考え、消費活動している場合ではないから(20点・女性21歳・東京都)
- ・ここ数ヶ月、仕事の残業が少なく金欠だから(40点・女性30歳・千葉県)
- ・ボーナスが思ったほど良くなかったことと、いろんな返済が多いので消費意欲は上がらない(30点・女性45歳・大阪府)
- ・買いたい気持ちはあるが、余裕資金がないから(40点・女性51歳・愛知県)
- ・ほしいと思うものもないけれど、先立つものもないので(10点・女性60歳・大阪府)

( )内点数:消費意欲指数

## 特に買いたいモノ・利用したいサービス

#### ■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2019年8月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)	
全体	29.1	-1.9	-1.1	
男性	28.2	-1.2	+0.2	
女性	29.9	-2.7	-2.5	

#### ■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

#### 【全体】(436人)

順位	カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比
1	旅行	226	+40	-11
2	外食	216	+30	- 8
3	ファッション	206	- 32	-22
4	食品	174	-17	- 7
5	レジャー	162	+23	-12
6	飲料	146	- 7	+ 8
7	書籍・エンタメ	112	- 2	- 4
8	化粧品	111	- 2	+12
9	家電・A V	109	-16	+17
10	理美容	104	+ 6	+ 3
11	日用品	91	- 7	+13
12	インテリア用品	61	- 4	+ 9
13	装飾品	60	-16	-10
14	パソコン・タブレット・周辺機器	55	+ 6	+ 6
15	スマートフォン・携帯電話	45	+ 1	+ 5
16	車・バイク	43	-11	- 3

**参考:男性** (213人)

カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比	
旅行	107	+10	- 14	
外食	88	- 2	- 6	
ファッション	80	- 10	+ 2	
レジャー	80	+18	+ 9	
飲料	65	-11	+ 8	
食品	64	-16	- 5	
家電・A V	60	- 8	+10	
書籍・エンタメ	60	- 9	- 2	
パソコン・タブレット・周辺機器	38	+ 4	+ 4	
スマートフォン・携帯電話	30	- 2	+ 3	
車・バイク	29	- 17	- 5	
日用品	24	-10	+ 3	
理美容	24	- 7	+ 5	
インテリア用品	23	- 7	+ 5	
装飾品	21	-12	-10	
化粧品	13	+ 1	+ 4	
	旅行 外食 ファッション レジャー 飲料 食品 家電・A V 書籍・エンタメ パソコン・タブレット・周辺機器 スマートフォン・携帯電話 車・パイク 日用品 理美容 インデリア用品 装飾品	旅行 (人数) 旅行 107 外食 88 ファッション 80 レジャー 80 飲料 65 食品 64 家電・A V 60 書籍・エンタメ 60 パソコン・タブレット・周辺機器 38 スマートフォン・携帯電話 30 車・バイク 29 日用品 24 理美容 24 インテリア用品 23 装飾品 21	旅行	

**参考:女性**(223人)

順位	カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比
1	外食	128	+32	- 2
2	ファッション	126	- 22	- 24
3	旅行	119	+30	+ 3
4	食品	110	- 1	- 2
5	化粧品	98	- 3	+ 8
6	レジャー	82	+ 5	-21
7	飲料	81	+ 4	±0
8	理美容	80	+13	- 2
9	日用品	67	+ 3	+10
10	書籍・エンタメ	52	+ 7	- 2
11	家電・A V	49	- 8	+ 7
12	装飾品	39	- 4	±0
13	インテリア用品	38	+ 3	+ 4
14	パソコン・タブレット・周辺機器	17	+ 2	+ 2
15	スマートフォン・携帯電話	15	+ 3	+ 2
16	車・バイク	14	+ 6	+ 2

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

<全体にのみ下記基準で色付け>

:前月比/前年比で20人以上増加

:前月比/前年比で20人以上減少

#### ■ 質問項目(質問文)

#### [消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、 あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答) また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

#### [特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない) 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、

生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20~69歳の男女

対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2019年7月4日(木)~8日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

#### <備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河·佐香) TEL.03-6441-6450

株式会社博報堂 広報室(西尾·大足) TEL.03-6441-6161

**データ公開** 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<a href="https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2019-08/">https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2019-08/</a>)から

ダウンロードしていただけます